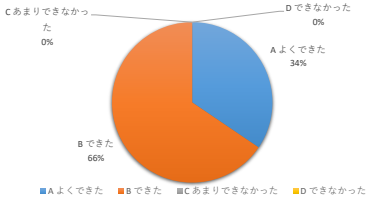
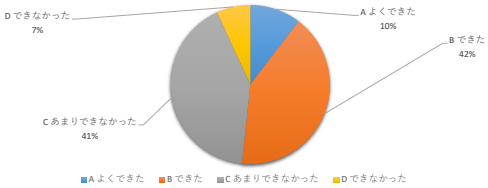
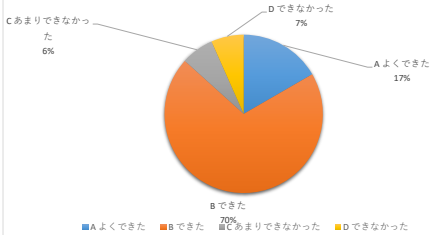
Q1学校ホームページや「青雲通信」「相談室だより」「進路のしおり」等の定期的な発行物の充実を図り、学校・家庭・地域との連携を進める。



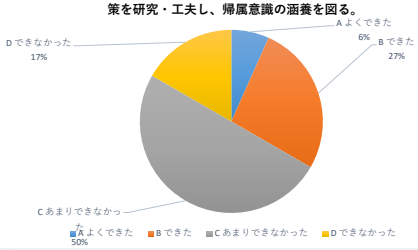
Q2オープンハイスクールや保護者授業参観、学校行事や地域貢献などを通じて、家庭・地域との連携を深め、本校教育活動の理解と協力を得る。



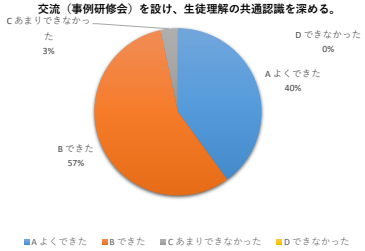
Q3安全な学校、より健全な学校の創造を目指し、校門当番や校内巡視の徹底、関係機関との連携、校内全面禁煙の定着等を進める。



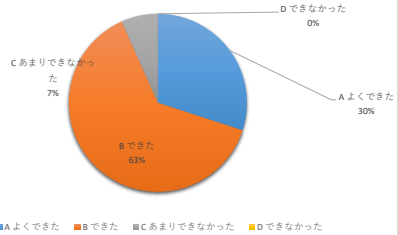
Q4生徒の学校行事への積極的な関わりや参加数の増加のため、方策を研究・工夫し、帰属意識の涵養を図る。



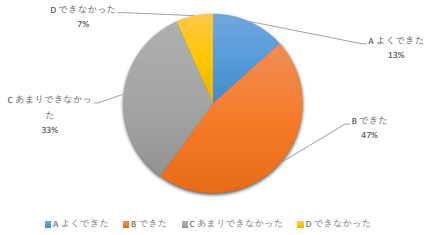
Q5キャンパスカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと教職員との交流（事例研修会）を設け、生徒理解の共通認識を深める。



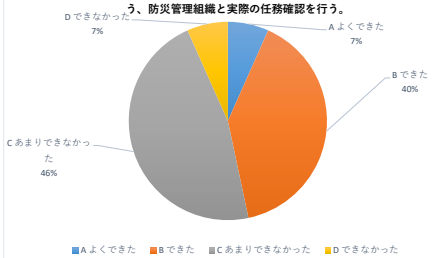
Q6関係機関と連携して、就労のしかた等を十分に理解させ、生徒の進路意識を高めた。



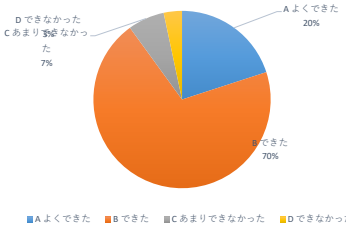
Q7「通信制高校に合った家庭・地域・関係機関との連携体制」を検討・工夫し、防犯、危機管理に対する教職員の安全対応能力の向上を図るための取組を行う。



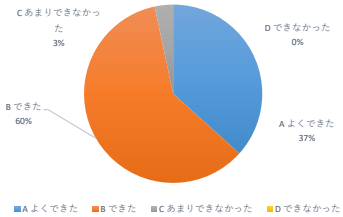
Q8災害発生時に生徒が的確に判断でき、安全な初期行動などがとれるよう、防災管理組織と実際の任務確認を行う。



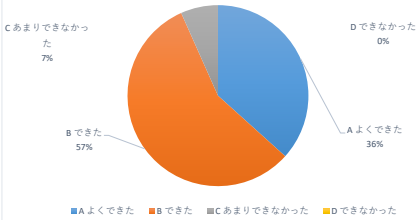
Q9本校の実情に合わせた基礎学力の定着を目指した学校設定科目を設置し、上位科目の学習につなげる。



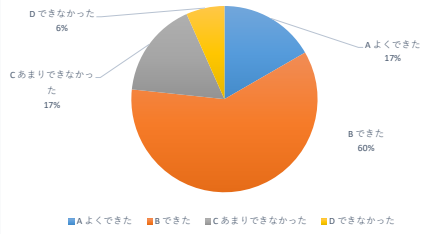
Q10受講料や学校徴収金の徴収をはじめ、レポート・定期発送の受渡や各種の事務手続きについて事務部と教職員との連携し、生徒の学習が順調に進むように支援する。



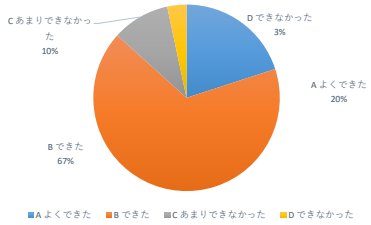
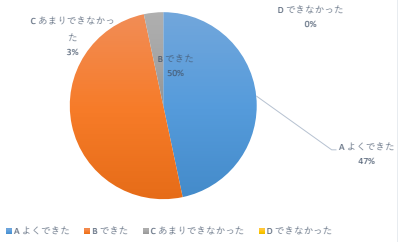
Q11安全点検を定期的に行い、救急処置などの安全教育の研修会等を実施する。



Q12健康診断の受診率を高め、事後指導の徹底を図り、保健室利用者への丁寧な対応に努める。



Q13長期的な視野に立ち、多様な生徒が在籍する現状を踏まえ、生徒一人一人を大切にする人権教育推進体制、人権教育を4年間見据えた形で構築する。



Q14Seiun Web Schoolや青雲eラーニングを使い、生徒の学習支援を進める。